

2024 年度金沢大学「人文社会科学における法」

小テスト (2024 年 12 月 17 日)

足立英彦 (法理学) 出題分 解答・解説

1. 次の選択肢のうち、誤っているものを二つ選べ。

- (a) 現在通用している法令を直接の研究対象とする分野を実定法学という。
- (b) 実定法学の共通の問は「何が法か」であり、基礎法学の共通の問は「法とは何か」である。
- (c) 法理学の対象は、時代や場所によって異なる、法の本質的な部分である。
- (d) 法理学は基礎法学の一分野である。
- (e) 法理学は、法概念論、法学方法論、真理論の 3 つの分野に分けることができる。

解答 (b), (e)

解説 (b) 実定法学と法理学以外の基礎法学の共通の問は「何が法か」。「法とは何か」は法理学の問。(e) 真理論でなく正義論。なお、配点はこの問を含めすべて一回答に 1 点。「誤っているものを二つ選べ」の問は、二つとも正解であれば 2 点、一つだけ正解であれば 1 点。

2. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 一つの規範を複数の異なった規范文で表すことができるので、規範は規范文よりも基礎的な概念である。
- (b) \diamond は必然性を、 \square は可能性を意味する記号である。
- (c) O は義務を、 P は許可を表す記号である。
- (d) 規範は、義務様相を含む文の意味である。

解答 (b)

解説 \diamond は可能性、 \square は必然性。

3. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 義務は可能を含意する。
- (b) 不可能なことは禁じられている。
- (c) 規範科学の仮説は実験や観察によって否定されることがある。
- (d) 「必ず雪が降る」は「雪が降る」を含意する。

解答 (c)

解説

(a) ある世界 W で OA が真ならば、 w から到達可能なすべての理想世界で A が真、理想世界は可能世界なので、 w から到達可能な少なくとも 1 つの可能世界で A が真、これはすなわち、 w において $\diamond A$ が真であることを意味する。

(b) ある世界 w で $\neg\diamond A$ が真、すなわち $\square\neg A$ が真ならば、 w から到達可能なすべての可能世界で $\neg A$ が真、理想世界は可能世界であるので、すべての理想世界でも $\neg A$ は真、これはすなわち、 w において $O\neg A$ が真であることを意味する。

- (c) 規範科学の仮説 $O(A \rightarrow B)$ は実験や観察によっては否定されない。
 (d) 文に含まれる様相を真理様相として理解する場合、その文が属する世界自身の出来事についても説明されている考える。

4. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 「ある世界 w において A であることが必然的である」は、「 w から到達可能なすべての可能世界で A である」と言い換えることができる。
 (b) 「ある世界 w において A であることが非必然的である (必然的でない)」ならば、「 w から到達可能なすべての可能世界で $\neg A$ である」。
 (c) 「ある世界 w において A であることが非必然的である (必然的でない)」は、「 w から到達可能な可能世界のうち少なくとも1つの世界で $\neg A$ である」と言い換えることができる。
 (d) 「ある世界 w から到達可能なすべての可能世界で A である」ならば、「 w から到達可能な可能世界のうち少なくとも1つで A である」。

解答 (b)

解説 「ある世界 w において A であることが非必然的である (必然的でない)」($\neg \Box A$ 、すなわち $\Diamond \neg A$) は、「到達可能な少なくとも1つの世界で $\neg A$ である」ということ。このことから、「 w から到達可能なすべての可能世界で $\neg A$ である」は導けない。

5. 「自動車通学をすることが禁じられている」が真である場合、次の発言のうち、誤っているものを一つ選べ。

- (a) 自動車通学をしないことが義務づけられている。
 (b) 自動車通学をしないことが許されている。
 (c) 自動車通学をすることが義務づけられていない。
 (d) 自動車通学をすることが許されている。

解答 (d)

解説

- (a) 問の文 ($O\neg A$) は (a) と同じ意味であるので、この発言は真。
 (b) $O\neg A$ は $P\neg A$ を含意するので、この発言は真。
 (c) $O\neg A$ は $\neg OA$ を含意するので、この発言は真。
 (d) $O\neg A$ と PA は否定の関係にあるので、 $O\neg A$ が真なら、この発言は偽。

6. 「煙草を吸うことが許されている」が真である場合、次の発言のうち、真偽が分かるものはどれか。

- (a) 煙草を吸う自由がない。
 (b) 煙草を吸う自由がある。
 (c) 煙草を吸うことが禁止されている。
 (d) 煙草を吸わないことが許されている。

解答 (c)

解説

(a) は「タバコを吸うことが許されている」(PA) と小反対の関係にある。一方が真なら、他方は真偽不明。

(b) は PA を含意する。後者が真なら前者は真偽不明。

(d) と PA は小反対の関係。一方が真なら他方は真偽不明。

(c) と PA は否定の関係。一方が真なら他方は偽。

7. 学問の自由がある国についての次の発言のうち、誤っているものを一つ選べ。

(a) 学問をすることが義務づけられていない。

(b) 学問をしないことが義務づけられていない。

(c) 学問をすることが許されていない。

(d) 学問をしないことが許されている。

解答 (c)

解説 「学問の自由がある」($PA \wedge P \neg A$) は (a) 「学問をすることが義務づけられていない」($\neg OA$ 、すなわち $P \neg A$) を含意する。前者が真なら後者は真。

「学問の自由がある」は (b) 「学問をしないことが義務づけられていない」($\neg O \neg A$ 、すなわち PA) を含意する。前者が真なら後者は真。

「学問の自由がある」と (c) 「学問をすることが許されていない」($\neg PA$ 、すなわち $O \neg A$) は反対の関係。一方が真なら他方は偽。

「学問の自由がある」は (d) 「学問をしないことが許されている」($P \neg A$) を含意する。前者が真なら後者は真。

8. 次の空欄を埋めよ。(文字はすべて漢字)

(a) 不作為義務(=禁止)と自由は()の関係にある。

(b) 作為許可と不作為許可は()の関係にある。

(c) 不作為義務は不自由を()する。

(d) 不作為義務と作為許可は()の関係にある。

解答 (a) 反対 (b) 小反対 (c) 含意 (d) 否定

9. 法規範の正しさに関する次の文の空欄を埋めよ。(文字は全て漢字)

第一に、互いに両立しない法規範は、どちらか一方を不正とみなすべきである。第二に、法規範を定める(1)のない者が定めた規範は、法規範としては認められない。第三に、これは論者によって立場が分かれるが、あまりに(2)に反する規範は、法規範としては認められない。

解答 1 権限 2 正義

10. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

(a) 「正義とは何か」という問に対する多様な答えを「正義構想」(conceptions of justice)

と呼ぶ。

(b) 様々な正義構想が共有する観念を「正義概念」(the concept of justice)と呼ぶ。

(c) アリストテレスは狭義の正義を、分配における正義と、様々な取引における「是正的なもの」とに分けた。

(d) アリストテレスの広義の正義は「権威に従うこと」を意味する。

解答 (d)

解説 正しくは「法に従うこと」。

11. 次の文の空欄を埋めなさい。

二者間の関係に対する評価の基準を(1)正義と呼ぶ。この(1)正義は、自発的なものと非自発的なものとに分けられる。前者は売主と買主、貸主と借主の関係など、後者は加害者(犯罪者や不法行為者)と被害者の関係である。前者の正しさを(2)正義、後者の正しさを(3)正義と呼ぶ。(1)正義は、特殊な場合の、すなわち、対象となる2人が同じ価値を有するとみなされる場合の(4)正義である。

解答 1 平均的 2 交換的 3 矯(匡)正的 4 分配的

12. 次の選択肢のうち、誤っているものを一つ選べ。

(a) 法規範の内容を定めるためには、法の目的を決める必要がある。

(b) 理想的な行為や状況を定めているだけで、その行為や状況が実現しなかった場合にどうなるのかを定めていない規範をルールと呼ぶ。

(c) 憲法が保障する人権を基本権と呼ぶ。

(d) 基本権を制限する法律の目的が他の基本権を守ることにある場合、その法律の目的自体は正当であるとみなされる。

解答 (b)

解説 ルールではなく原理

13. 次の選択肢のうち、誤っているものを二つ選べ。

(a) 基本権を制限する法律の目的を実現するために、その法律が定める法的効果よりも効果的な措置がある場合、その法律は「不必要」である。

(b) 基本権を制限する法律の目的を同程度に達成する二つの手段のうち、他の目的をより侵害する方を「不適合」な手段という。

(c) ある法律によって侵害される基本権の重み(重要度)が重いほど、その法律によって実現しようとしている他の基本権の重みが重くなければならない。

(d) 比例原則に反する法律は違憲である。

解答 (a) (b)

解説

(a) 正しくは「不適合」

(b) 正しくは「不必要」

14. 次の文の空欄を埋めなさい。(文字は全て漢字)

基本権侵害を伴う法律の目的に対してその法律が定める法的効果が(1)的であり、(2)であり、かつ(3)しいと判断される場合、その法律は合憲であり、不(1)、不(2)、または不(3)と判断される場合は違憲である。

解答 1 適合 2 必要 3 相応

15. この授業(12月10, 17日)の感想(納得した点、驚いた点、疑問に思う点、難しく理解できなかった点など)や改善提案等を記入してください。(任意。得点には関係しません。)

回答 義務様相の四角形や六角形、可能世界や理想世界を理解することが難しかったというご意見を多数いただきました。これらは法や規範を理解するための最低限の知識であり、説明を省略することは考えられないのですが、皆さんにより理解していただけるよう、引き続き授業の方法の改善を試みたいと思います。

以上

参考情報(2024年12月17日現在)

- 小テスト結果

履修登録数	受験者数	平均点(25点満点)
219	202	17.4

25点2名、24点9名

- 履修者の所属

人文48、法102、経22、地創16、国際21、学教2、総8